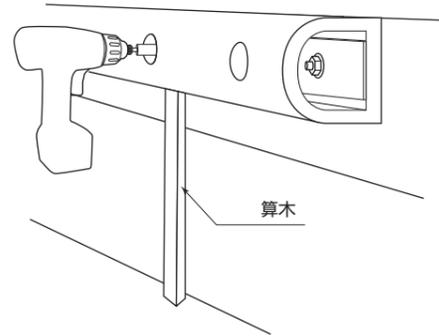


2 本体、下地の取付

1. 本体と下地のセット  
本体に下地を差し込み、全てのアンカーにはまるよう確実にセットする。



2. ナットの締付け  
ナットを全てのアンカーに仮締め後、レベルを確認しながら確実に締め込む。

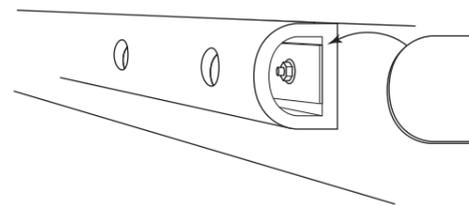
**ポイント** 本体のレベルを保持することと落下防止のために、算木を添える事をお勧めします。

3 エンドキャップ(オプション)の取付 ※規格上NCD-1010のみ

1. エンドキャップの取付

エンドキャップに接着剤を塗布し、カーستッパーの断面に正しく合わせて嵌め込み固定する。

※エンドキャップ取付部の下地は、7~8mm切り詰めが必要となる。  
※NCD1010以外は平板ゴムにて製作可能



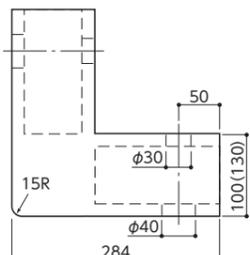
接着剤：アルテコジェル

4 最終調査

全ての作業完了後、自主検査表を基にゴムの傷、汚れ、変形やガタツキが無いが、エンドキャップの接着状態等を確認してください。

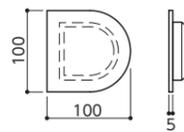
オプションについて(NCD/NCD-Y共通)

■出隅コーナー部品 (NCD-1010/1315 用)

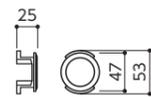


( ) 寸法は NCD-1315 です。

■エンドキャップ (NCD-1010 用)



■ボルト穴キャップ (NCD-1010/1315 用)



※オプションについては、弊社営業担当までお問い合わせください。

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくは QR コードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

**ナカ工業株式会社** URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

**ナカテクノメタル株式会社** URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯電話の QR コード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

カーستッパー

NCD-5050、NCD-1010、NCD-7070、NCD-1315、NCD-1010Y、NCD-1315Y、NCK-1010、NCD-1010M、NCD-1315M、NCD-1315MK、NCD-1010MK

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

- △ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
- ⊘ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

取付けの前に

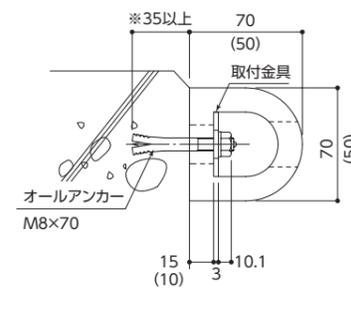
**警告**

- 強度を確認** 必ず強度のある壁や建築構造体に取り付けてください。石膏ボードなどの強度のない壁に直接取り付けると、本体が外れたり壁が壊れたりして、思わぬケガの原因になります。
- お願い** 取り付け完了後、ガタツキが無いことを確認してください。カーстッパー本体にガタツキがあると、落下の原因になりますので、必ずご確認ください。

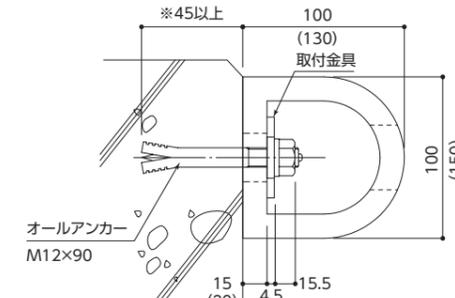
納まり図

RC壁施工例(オールアンカー仕様)

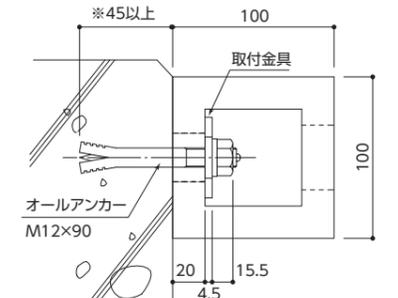
■NCD-5050 (NCD-7070)



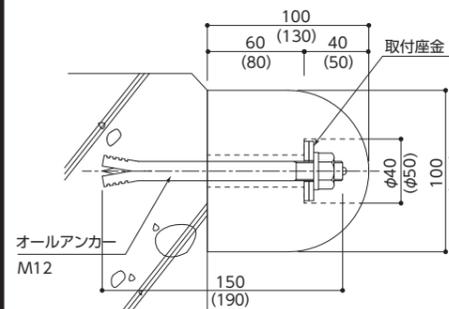
■NCD-1010 (NCD-1315)  
■NCD-1010Y (NCD-1315Y)



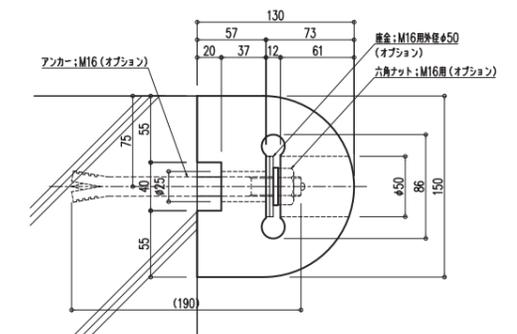
■NCK-1010



■NCD-1010M (NCD-1315M)

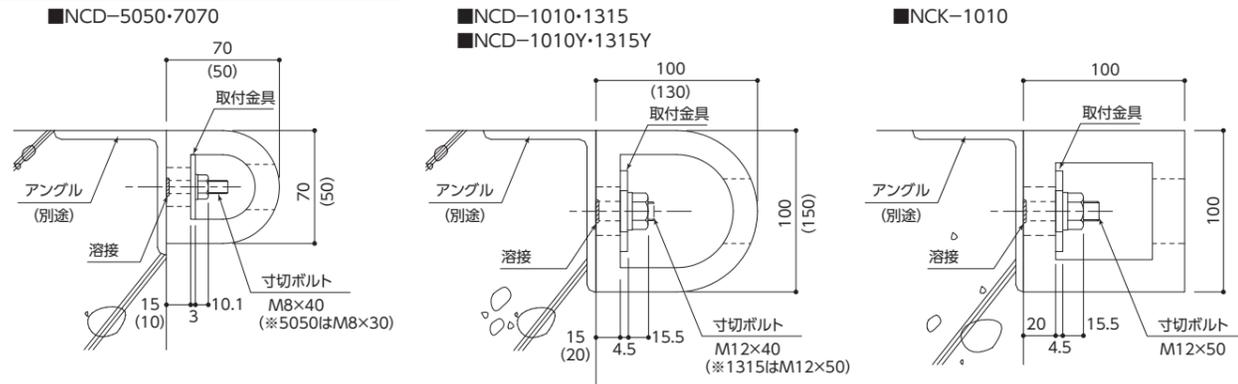


■NCD-1010MK (NCD-1315MK)



## 納まり図

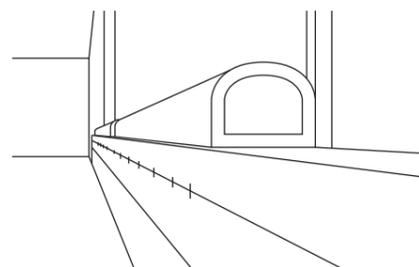
### アングル下地部施工例(寸切ボルト仕様)



## 施工手順

### 1 取付前作業 オールアンカータイプ

1. 配置  
取付位置のレベル墨を出した後、アンカー位置の罫書き(以降マーク)を行う為、取付位置の上に本体を配置してください。同時に材料の過不足も確認してください。



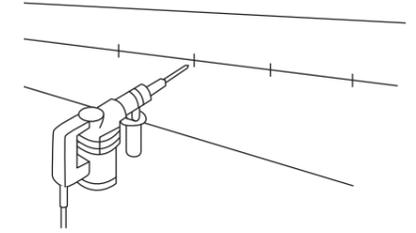
2. 墨出し  
鉛筆等でアンカー位置を壁面にマークしてください。

## 施工手順

3. アンカー用穴開け  
マークした位置とずれないように穴を開けてください。

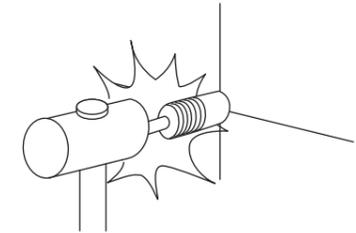
※鉄筋に干渉して所定深さに穴開けが出来ない場合があるので、1サイズ短いアンカーも1割程度用意してください。

**!** **ポイント** 使用するアンカーが長いので、ハンマードリルのキリにアンカーの長さに合わせてテープを巻いておくと、穴を開ける目安になります。



4. アンカーの打込み  
ブラシ又はプロアーで穴の中の切り粉を除去し、アンカーを全て穴の垂直に打込んでください。

※アンカーサイズは1ページの納まり図を参照してください。



### 1-2 取付前作業 寸切ボルト溶接タイプ

1. 配置、墨出し  
前項オールアンカータイプと同様に、墨出しまで行ってください。

#### ⚠ 注意

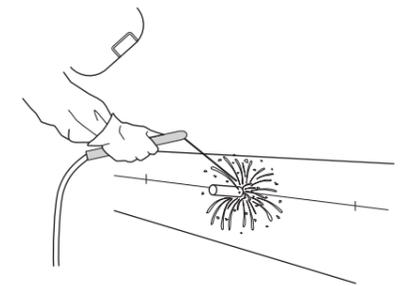
**!** **お願い**  
溶接作業の場合、溶接のスパッタが飛ぶので、本体の配置には十分な配慮が必要です。

2. 寸切りボルト溶接  
壁面に垂直にボルトを溶接してください。

※寸切りボルトサイズは1ページの納まり図を参照してください。

#### ⚠ 警告

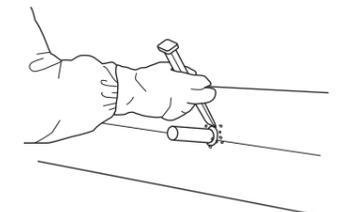
**!** **お願い**  
周囲に燃える物がないか確認し、火災に注意してください。消火器・水・バケツ、場合によって防災シート、薄ベニア、スパッタシートを用意してください。



3. スパッタ除去  
ブラシ又はたがね等で溶接で飛び散ったスパッタを除去してください。

#### ⚠ 注意

**!** **お願い**  
スパッタをそのままにしておくと、錆の原因になりますので必ず除去してください。



**!** **ポイント**  
溶接部位の錆止め塗装を行う亜鉛末塗料は、スプレータイプが扱いやすくおすすめです。